

ICOM

ご注意と保守について

VoIP ROUTER

VR-7000

IP電話対応

安全上のご注意（安全にご使用いただくために、必ずお読みください。）

- 使用者および周囲の人への危害や財産への損害を未然に防ぎ、製品を安全に正しくご使用いただくために、守っていただきたい注意事項を示しています。
- 次の「△警告」、「△注意」の内容をよく理解してから本文をお読みください。

■本製品について

△ 警告	下記の記載事項は、これを無視して誤った取り扱いをすると「使用者および周囲の人が、死亡または重傷を負う可能性が想定される内容」を示しています。	
○下記の事項を守らないと、火災、感電、故障の原因になります。 <ul style="list-style-type: none">●付属のACアダプター以外は、使用しないでください。●指定以外の付属品、および別売品は使用しないでください。●DCジャック以外の端子にACアダプターを接続しないでください。●ケーブルを加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしないでください。●ケーブルの上に重いものを載せたり、挟んだりしないでください。●完全調整していますので、分解、改造は、絶対にしないでください。●通気口をふさがないでください。●水などでぬれやすい場所(屋外や加湿器のそばなど)に設置しないでください。	○ぬれた手で本製品に触れないでください。感電の原因になります。	
	○下記の事項を守らないと、火災、感電の原因になります。 <ul style="list-style-type: none">●ご使用の際は、必ずアース線を接続してください。また、アース線は、ガス管や水道管に接続しないでください。●電源ケーブルや接続ケーブルは、赤ちゃんや小さなお子さまの手が届かない場所で設置、使用してください。	○万入、煙が出ている、変なにおいがする、変な音がする、水などが入った場合は、使用を中止してください。そのまま使用すると、火災、感電、故障の原因になります。すぐに、本製品に接続しているACアダプターのプラグとそのほかのケーブル類を取りはずしてください。煙が出なくなるのを確認してからお買い上げの販売店、または弊社サポートセンターにお問い合わせください。

△ 注意	下記の記載事項は、これを無視して誤った取り扱いをすると「人が傷害を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみが発生が想定される内容」を示しています。
○直射日光の当たる場所や空調機器の吹き出し口など、温度変化の激しい場所には設置しないでください。変形、変色、火災、故障の原因になることがあります。	○長時間、使用しないときは、安全のため本製品に接続するACアダプターを取りはずしてください。発熱、発火、故障の原因になることがあります。
○製品の上に乗ったり、落としたり、強い衝撃を与えたり、重いものを載せたりしないでください。けがや故障の原因になることがあります。	○湿気やホコリの多い場所、風通しの悪い場所には設置しないでください。また、本製品同士やほかの製品と重ねて置かないでください。
○結露させないために、温度差の激しい環境へ急に移動させないでください。内部や外部に水滴がつき、変形、変色、火災、故障の原因になることがあります。	○テレビやラジオの近くで使用しないでください。電波障害を与えたり、受けたりする原因になることがあります。
○自然乾燥させるか、長いあいだ同じ環境に置くなどして、結露がなくなってからご使用ください。	○近くに雷が発生したときは、ACアダプターを接続しているコンセントから抜いて、ご使用をお控えください。また、ケーブルの接続や切断、および製品の導入や保守の作業をしないでください。
○ぐらついた台の上や、傾いたところなど、不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりして、火災、けが、故障の原因となることがあります。	○火災、感電の原因になることがあります。
○下記の事項を守らないと、故障の原因になることがあります。 <ul style="list-style-type: none">●屋外に設置しないでください。●強い磁界や静電気の発生する場所、温度や湿度が、本製品の使用環境を超えるところでは使用しないでください。●説明と異なる接続をしないでください。 また、本製品への接続を間違えないように十分注意してください。	○火災、感電の原因になることがあります。ふだんは、乾いたやわらかい布でふき、汚れのひどいときは、水を含ませたやわらかい布をかたく絞ってふいてください。ただし、LANケーブルやモジュラーケーブルのプラグ(先端)部分は、絶対に水を含ませた布でふかないでください。

このたびは、本製品をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。本書では、本製品を安全に正しくお使いいただくために、守っていただきたい注意事項を説明しています。また、本製品の初期化操作など、保守についても説明しています。お読みになったあとは、いつでも読める場所へ大切に保管してください。

免責事項について

地震・雷・風水害などの天災および当社の責任以外の火災、本製品の違法な使用、お客様または第三者が取扱説明書とは異なる使用方法で本製品を使用することにより生じた損害につきましては、法令上の賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

■ACアダプターについて (付属品)

△ 警告	下記の記載事項は、これを無視して誤った取り扱いをすると「使用者および周囲の人が、死亡または重傷を負う可能性が想定される内容」を示しています。
○下記の事項を守らないと、火災、感電、故障の原因になります。 <ul style="list-style-type: none">●本製品以外の機器に使用しないでください。●AC100V以外の電源電圧で使用しないでください。●必ずDCコネクターやACアダプター本体を持って抜き差ししてください。●水などでぬれやすい場所で使用しないでください。●電源ケーブルの上に重いものを載せたり、挟んだりしないでください。●電源ケーブルを加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしないでください。	○ACアダプターの金属部分、およびその周辺にホコリが付着している場合は、乾いた布でよくふき取ってください。そのまま使うと、火災の原因になります。
○ぬれた手でACアダプターに絶対に触れないでください。感電の原因になります。	○ACアダプターは、コンセントの奥まで確実に差し込んでください。差し込みが不十分な場合、火災、感電の原因になります。
	○風通しの悪い場所で使用したり、タコ足配線やACアダプター同士を密着させたりして使用しないでください。
	○コンセントの差し込みがゆるかったり、電源ケーブルが傷ついたりしたときは、使用しないでください。
	○火災、感電、故障、データの消失、破損の原因になりますので、お買い上げの販売店、または弊社サポートセンターにお問い合わせください。

■有寿命部品について

本製品に付属のACアダプターは、有寿命部品です。ACアダプター交換の目安は、使用頻度や使用環境などにより異なりますが、使用時の周囲温度が25℃で約5年です。

IP電話をご使用になるときは

- 商用IP電話(VoIP)機能をご使用いただくには、ご契約の回線接続業者から本製品にIPアドレスが割り当てられている必要があります。この条件に該当しているかどうかについては、ご契約の回線接続業者にお問い合わせください。
- 商用IP電話接続業者のサービスにより、本製品での使用に対応していない場合や発信先によっては発信できない場合があります。詳しくは、ご契約の商用IP電話接続業者にお問い合わせください。
- IP電話は、ネットワークを経由して通話をする性質上、第三者により盗聴される可能性がありますので、通話される内容にはご注意ください。
- IP電話はネットワークの状態により音声途切れたり音質が低下したりする場合があります。このため、FAXなど通信機器では正常に通信できないことがあります。
- IP電話の通話中に一般加入電話回線から着信を受けたとき、この回線の仕様により発信者には話中音ではなく通常の呼び出し音が聞こえます。

電話回線や電話機を接続するときは

■ISDN回線のご使用について

- ISDN回線を[U](1/2)ポートに接続したときに[ISDN](1/2)ランプが点灯しない場合は、ISDN回線を接続したポートの[U](1/2)スイッチを「REV」に切り替えてください。
- 市販のDSU、またはDSU内蔵のISDN機器を[S/T1]ポートに接続するときは、[DSU1]スイッチを「OFF」に切り替えてください。
- ISDN回線を[U1]ポートに接続して、さらにほかのISDN機器を[S/T1]ポートに接続するときは、[S/T1-TERM]スイッチを「OFF」に切り替えてください。
- ISDN機器を[S/T3]ポートに接続したときに[ISDN3]ランプが点灯しない場合は、接続した機器を確認してください。
- 複数の接続先があるISDN機器を[S/T3]ポートに接続する場合、本製品が終端以外のときは、[S/T3-TERM]スイッチを「OFF」に切り替えてください。

■ユーザー登録について

インターネットから、<http://www.icom.co.jp/> にアクセスしていただき、ユーザー登録用フォーム(サポート情報→ユーザー登録)にしたがって必要事項を入力ください。

■回線への接続形態について

IP電話を常に待ち受け状態でご使用になる場合は、本製品を商用IP電話回線に常時接続された状態で使用してください。この回線が切断されていると、IP電話として待ち受けできません。※ひかり電話(網直取)ご利用時は回線終端装置(ONU)との接続が完了していることを、ひかり電話(GW配下)ご利用時はホームゲートウェイ、またはオフィスゲートウェイとの接続が完了していることをご確認ください。

■停電中の使用について

IP電話(ひかり電話を含む)やISDN回線は、停電中に使用できません。アナログ電話回線が接続されている場合は、あらかじめ電源が切れた状態で本製品の[TEL](1/2)ポートに接続された電話機から発信して、停電時*でも一般加入電話として使用できることを確認しておいてください。**★停電時は、本製品の[LINE1]ポートと[TEL1]ポート、[LINE2]ポートと[TEL2]ポートが内部で直接接続された状態になります。**※一般加入電話で通話中に停電から復帰したときは、その段階で通話が切断されますのでご注意ください。※ひかり電話(GW配下)ご利用時については、ご使用になるホームゲートウェイ、またはオフィスゲートウェイの取扱説明書をご覧ください。

■PSTN自動最適化機能について

[LINE](1/2)ポートへアナログ電話回線を接続したあと、本製品の電源を入れるだけで、接続した電話回線にあわせて、自動的に本製品のエコキャンセラーが最適化され、エコやハウリングを低減します。※手動で最適化する場合は、[LINE](1/2)ポートから回線を取りはずし、30秒以上経過してから再接続してください。※電源を入れたあと、最適化には約1分かかります。最適化が完了するまで発信できませんのでご注意ください。

■[TEL]ポートに接続できる機器について

本製品の[TEL](1/2)ポートに接続できる機器は、プッシュボタン付きのアナログ電話機とG3ファクシミリです。※1つのポートに複数の機器を接続しないでください。モジュラー2分配用コネクターなどを使用すると、誤動作の原因になります。

使用時のご注意

■ 取り扱い上のご注意

- ◎本製品は、高度な信頼性が必要な用途に使用されることを目的とした製品ではありません。
本製品が原因で発生したいかなる損害についても弊社は一切その責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- ◎本製品が対応しているインターネット・プロトコルは、「IPv4」です。
※「IPv6」には対応していません。
- ◎法律により、一般加入電話回線(内線通話およびIP電話を除く)を本製品で使用しているときは、次の規制条件が定められています。
本製品の使用方法によっては、この条件に合致したとき、意図しない動作となることがありますが、故障ではありません。
▶相手から応答がない場合、一般加入電話回線を2分以内に強制切断します。
※2分間の無応答切断は、電話回線の極性反転により応答を検出して動作していますので、「0120」などの特殊な番号へ掛けた場合にも働く場合があります。
この場合は、本製品の[TEL](1/2)ポートに接続したアナログ電話機をご使用いただくことで、強制切断を回避できます。
▶話中などの場合、一般加入電話回線での再発信は3分間に2回までとなっています。
※最初の発信から3分が経過するまでは3回目の再発信はできません。
- ◎パソコンやその他の周辺機器の取り扱いは、それぞれに付属する取扱説明書に記載する内容にしたがってください。

- ◎次に示す内容をよくお読みになってから、本製品の設定ファイルや弊社ホームページ <http://www.icom.co.jp/> より提供されるアップデート用ファームウェアファイルをご使用ください。
本製品以外の機器への書き込み、変更による障害、および書き込みに伴う本製品の故障、誤動作、不具合、破損、データの消失、または停電などの外部要因により通信、通話などの機会を失ったために生じる損害や逸失利益、または第三者からのいかなる請求についても当社は一切その責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- ◎本製品が原因で発生した債務不履行、または不法行為に基づく損害賠償の責任は、当社に故意、または過失のある場合を除いて、本製品の購入代金と同等金額を上限といたします。
- ◎本製品に隠れた瑕疵があった場合、無償にて当該瑕疵を修理、または瑕疵のない同一製品、もしくは同等品に交換いたしますが、当該瑕疵に基づく損害賠償の責任は一切負いません。
- ◎本製品の仕様、外観、その他の内容については、改良のため予告なく変更されることがあり、本書の記載とは一部異なる場合があります。

■ 情報処理装置等電波障害自主規制について

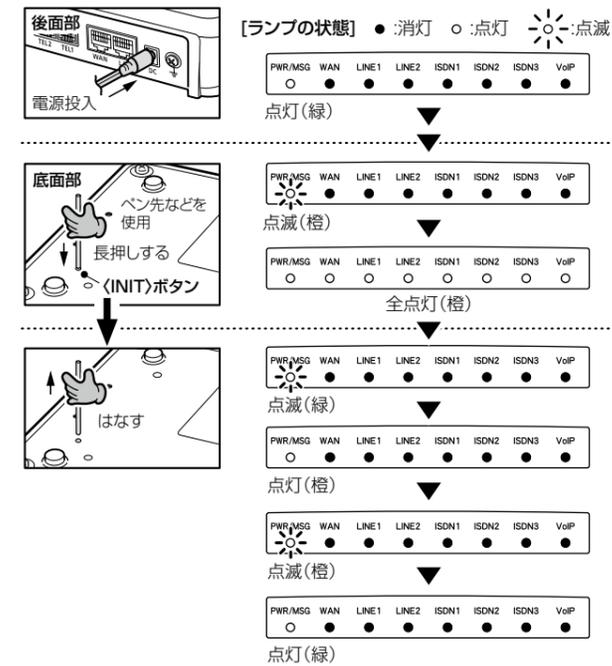
この装置は、クラスA情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。 VCCI-A

本製品を出荷時の状態に戻すときは

本製品に設定されたIPアドレスが不明な場合など、設定画面にアクセスできないときは、底面部の<INIT>ボタン操作で、本製品のすべての設定内容を出荷時の状態に戻せます。

- 1 本製品からすべてのネットワーク機器を取りはずして、電源を入れます。
※[PWR/MSG]ランプの点灯(緑)を確認してから、手順2の操作を開始してください。
- 2 すべてのランプが点灯(橙)するまで、<INIT>ボタンを押します。
- 3 すべてのランプが点灯(橙)したことを確認して、<INIT>ボタンから手をはなします。
※[PWR/MSG]ランプだけが点灯(緑)に切り替わると、初期化完了です。

※初期化すると、ご使用になる端末を内線電話としてご利用いただけなくなりますので、電話回線やPBX設定などを設定しなおしてください。
※設定画面にアクセスできる場合の初期化操作については、弊社ホームページに掲載の設定マニュアル(PDFファイル)をご覧ください。



バージョンアップお知らせ機能について

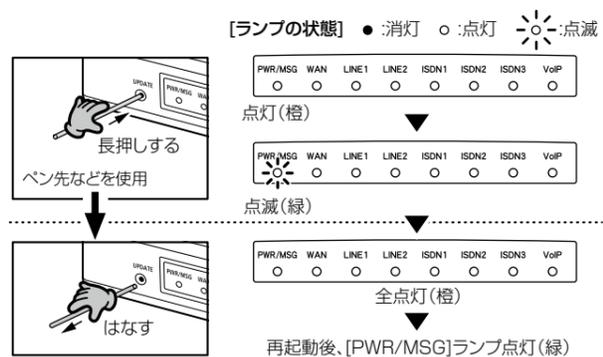
本製品がアップデート管理サーバーと通信して、最新ファームウェアの有無を自動的に確認してお知らせする機能です。
[PWR/MSG]ランプが点灯(橙)した場合は、下記の手順でファームウェアを更新してください。
※更新内容により、運用中にファームウェアを自動更新して本製品が再起動することがあります。
自動更新を望まない場合は、自動更新機能を「無効」に設定してください。(出荷時の設定：有効)
※ファームウェアの更新や自動確認には、インターネットへの接続環境と本製品へのDNS設定、デフォルトゲートウェイ設定が必要です。
設定について詳しくは、弊社ホームページに掲載の設定マニュアル(PDFファイル)をご覧ください。

■ バージョンアップについてのご注意

- 故障の原因になるため、ファームウェアの更新が完了するまで、本製品の電源を切らないでください。
 - 通話中、または留守番電話録音終了後しばらくのあいだ(本製品への書き込みが完了するまで)は、ファームウェアを更新できません。
 - 緊急番号へ発信したあと、数分間はファームウェアを更新できません。(NTTひかり電話設定時のみ)
- ※バージョンアップによって追加や変更になる機能、注意事項については、あらかじめ弊社ホームページでご確認ください。

[PWR/MSG]ランプが点灯(橙)したときは

- 1 [PWR/MSG]ランプが点灯(橙)から点滅(緑)に切り替わるまで、<UPDATE>ボタンを押します。
- 2 [PWR/MSG]ランプが点滅(緑)したことを確認して、<UPDATE>ボタンから手をはなします。
ファームウェアのダウンロードを開始し、更新後は自動的に再起動します。
※本製品が再起動したあと、ご使用の端末を再起動してください。



※ご使用の環境により、[PWR/MSG]ランプ以外の状態は異なります。(全点灯時を除く)

アフターサービスについて

取扱説明書にしたがって、もう一度、本製品とパソコンの設定などを調べていただき、それでも異常があるときは、次の処置をしてください。

保証期間中は

お買い上げの販売店にお問い合わせください。
保証規定にしたがって修理させていただきますので、保証書を添えてご依頼ください。

保証期間後は

お買い上げの販売店にお問い合わせください。
修理することにより機能を維持できる製品については、ご希望により有料で修理させていただきます。

● 保証書について

保証書は販売店で所定事項(お買い上げ日、販売店名)を記入のうえお渡しいたしますので、記載内容をご確認いただき、大切に保管してください。

● 弊社製品の技術的なお問い合わせ先について

お買い上げいただきました弊社製品にご不明な点がございましたら、下記のサポートセンターにお問い合わせください。

お問い合わせ先
アイコム株式会社 サポートセンター
0120-156-313 (フリーダイヤル)
◆携帯電話・PHS・公衆電話からのご利用は、
06-6792-4949 (通話料がかかります)
受付(平日 9:00~17:00)
電子メール: support_center@icom.co.jp
アイコムホームページ: <http://www.icom.co.jp/>

● 弊社製品の故障診断、持ち込み修理などの修理受付窓口は、別紙の「サービス受付窓口一覧」、または弊社ホームページ <http://www.icom.co.jp/> をご覧ください。

登録商標/著作権について

アイコム株式会社、アイコム、Icom Inc.、アイコムロゴは、アイコム株式会社の登録商標です。その他、本書に記載されている会社名、製品名は、各社の商標または登録商標です。本書の内容の一部、または全部を無断で複写/転用することは、禁止されています。